



手工芸を使った作業療法

平成 19 年 1 月 25 日

作業療法学専攻 浅井憲義

1. 作業療法

認知症の人や家族の人にとって困ることは、記憶や見当識、計算能力などの脳機能の低下が原因で、他者とのコミュニケーションがうまく出来なくなることに加えて、日常生活活動の手順を間違えたり忘れてしまうことです。認知症の作業療法では、従来からデイケアセンターや認知症専門病棟で、レクリエーションや手工芸などの活動を通じて、認知症の人の生活を活性化するためのプログラムが取り入れられています。それらを理解するためには、人の生活を作業療法の視点で確認しておく必要があります。

作業療法では「作業」を、人が生活をする為に行う意味や目的を持ったものと位置づけています。勿論、仕事、日常生活活動は人にとって重要な作業ですが、遊ぶこと、休息を取ることも人生を楽しむうえで必要な作業といえます。つまり、人の営みすべてを作業と言うことができます。そして、これらの作業をすることを「作業遂行」と言います。この作業遂行は、疾病が原因で身体、精神活動が低下し、活動を行うのにふさわしくない環境が生じると、生活に支障を来します。その結果、人は不自由な生活を強いられることになるのです。以下に「作業」と「作業遂行」について簡単に触れておきます。

1) 作業

「作業」と「人の営み」を4つの領域で説明します。

- ①日常生活活動：普段の生活に必要なもの。食事、更衣、排泄、入浴など。
- ②仕事：生活の糧を得るもの。主婦業や学業も仕事のひとつです。
- ③遊び：子供の運動機能や集団活動を成長させる、仕事のストレスを癒すもの。
- ④休息：睡眠やリラクセスは、心身の緊張を和らげ再び活動を行う際の活力となります。

2) 作業遂行

- ① 作業遂行構成要素：人の心身機能（筋力、知能、その他）、心理状態、コミュニケーション技術等。
- ② 作業遂行領域：日常生活活動、仕事、遊び、休息。
- ③ 作業的役割：社会に参加し、役割を果たし、生き甲斐を感じる。

2. 認知症の作業療法

認知症が原因で、脳機能が低下した人々が普段の生活の営み、つまり作業ができなくなると生活に支障を生じます。

認知症者の作業遂行の状況は、①認知症の中核症状である記憶障害、問題処理能力の欠如、見当識障害など（作業遂行構成要素）、②日常生活活動、余暇の過ごし方、睡眠形態などの乱れ（作業遂行領域）、③常に他人の援助を必要とし、自己の尊厳を失う（作業的役割）といった3つの要素で捉えることができます。

3. 手工芸を使った認知症の作業療法

認知症の作業療法では折り紙、革細工、陶芸などの手工芸を使います。手工芸をする過程で必要とされる心身機能の賦活、手工芸を行うことで日常生活活動の活性化や生活リズムの正常化、完成作品から感じる自己認識や他者から賞賛される喜びを得ることが出来ます。

1) 手工芸＜折り鶴で考える＞

①目的

折り鶴を行うときに使う身体の姿勢、手指の動き、手順を考える脳機能（作業遂行構成要素）の維持・改善、不穏や徘徊の減少などの日常生活活動への影響（作業遂行領域）の軽減、出来上がった鶴を飾り、他者に贈ることで自己の存在を認識（役割の獲得）することができる。

②実際

1. 折り鶴が出来るように環境、道具、手順の工夫をして導入する
2. 折り鶴の作成手順で工程分析する
3. 各工程で遂行状況を確認し作業療法士が援助する（手工芸評価表に記載）
4. 完成作品を確認する
5. 作品を展示、提供する

＜手工芸評価表^{※1}とは＞

手工芸の工程を分析し、各工程の遂行具合を「誤りの気づき」と「修正能力」の2要素で作業活動遂行尺度^{※2}を使って評価するものです。

資料1 手工芸評価表

手工芸名：折り紙（鶴作成）		氏名：（ ）歳 男・女	
既往歴：			
MMS： 点	HDS-R： 点		
日時： 年 月 日（ ）	： ～		：
導入方法：			
作業工程	遂行能力	援助方法	備考
1) 正方形の対角に重ね合わせ、三角形に折る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
2) 更に三角形に折る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
3) 三角形の内側に指を入れ、広げて正方形を作る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
4) 折りずらす	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
5) もう一方の内側を広げて同様に正方形を作る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
6) 正方形を中央の折り筋に合わせて折り、戻す	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
7) もう一方の正方形にも同様に折り筋をつける	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
8) つけた折り筋を使って、内側を広げるように折り、形を作る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
9) 反対も同じように折る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
10) 菱形を中心に合わせるように折る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
11) もう一方の菱形も中心に合わせるように折る	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
12) 中割り折りをする	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
13) もう一方も中割り折りをする	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
14) 頭の部分を作るため、片側の先端を中割り折りをする	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	
15) 羽を広げ、胴体に空気を入れる	誤りの気づき	1 2 3 4 5	
	修正能力	1 2 3 4 5	

(北里大学医療衛生学部 浅井憲義作成)

資料2 作業活動遂行尺度

作業活動遂行尺度

<誤りの気づき>

- ① 間違いを指摘しても間違いに気づかない
- ② 間違いを具体的に指摘すれば、間違いに気づく。
(間違いを言語、デモンストレーション等を交えて教える)
- ③ 間違いに気づくが、間違いの内容を理解していない。
- ④ 間違いに自分で気づく、間違いを説明できる。
- ⑤ 間違いがない

<修正能力>

- ① 援助しても自分で出来ずに、介助者が行う
- ② ある程度の援助をすれば、修正できる。(デモンストレーション、言語指示、実際にある部分行う)
- ③ 言語指示、見本を見せると修正できる
- ④ 一人で修正できる
- ⑤ 間違いわずに出来る

(北里大学医療衛生学部 浅井憲義作成)